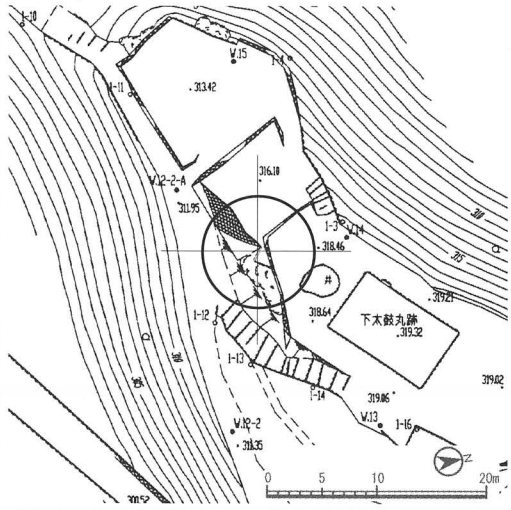
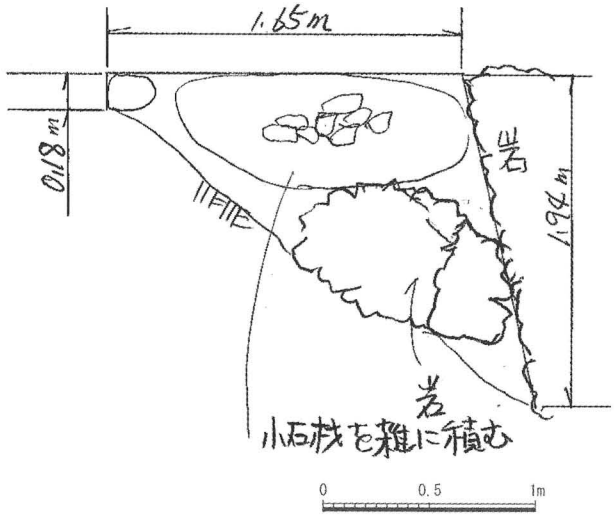
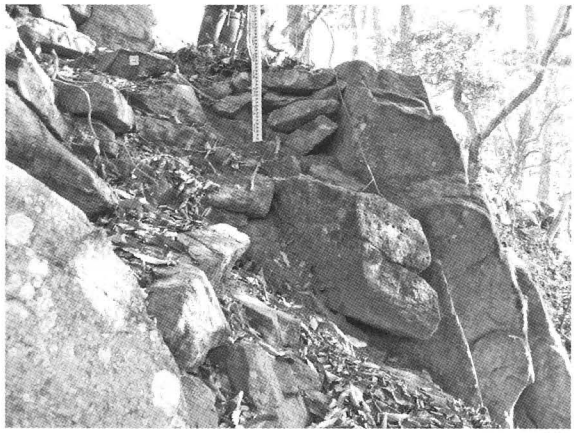
石垣番号	st_022	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	犬走り			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.65		下端 2.00		
石垣高さ	左 0.18		右 1.94		
	最高 1.94	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材の多用。露岩の組込。				



破損の要因と破損状況	略図
・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレがみられる。	

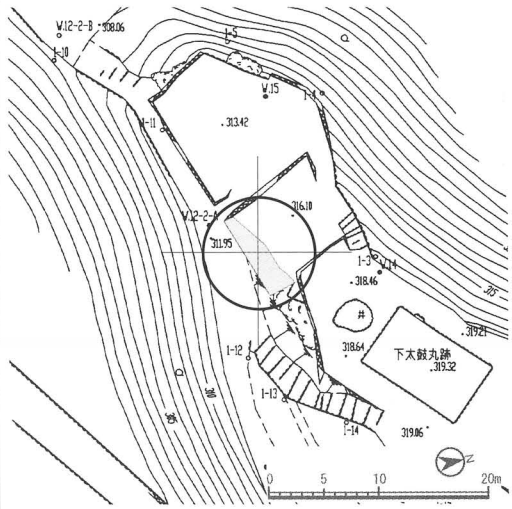


全景写真1



石垣番号	st_023	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.90		下端 9.30		
石垣高さ	左 3.37		右 0.26		
	最高 3.37	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	大石の組み込みが多くみられる。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

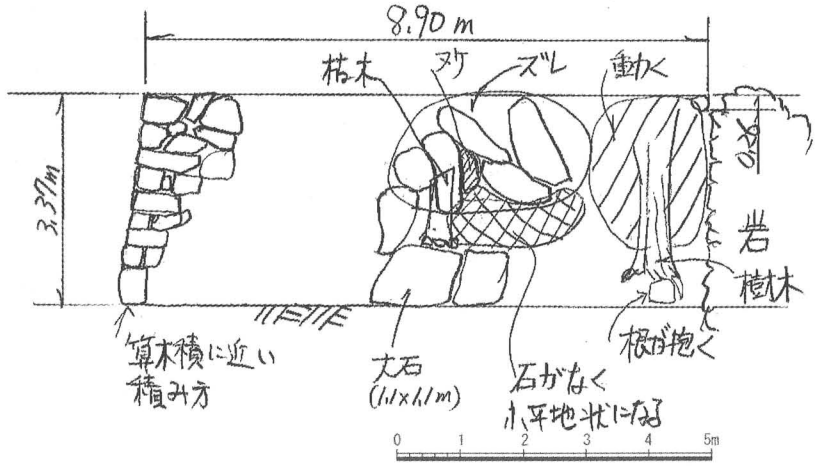


破損の要因と破損状況

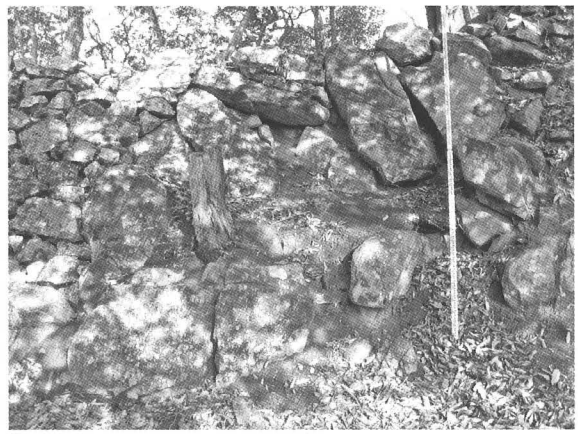
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

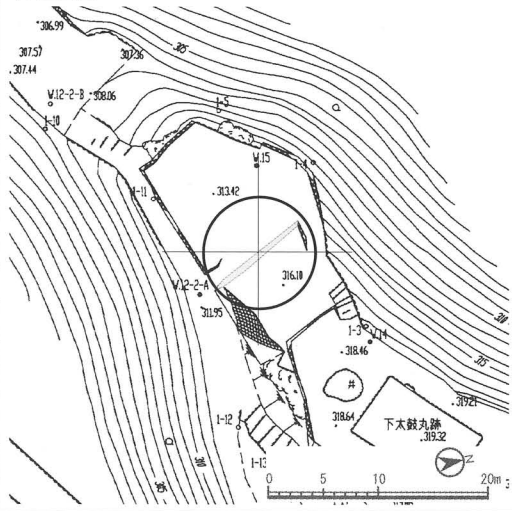
略図



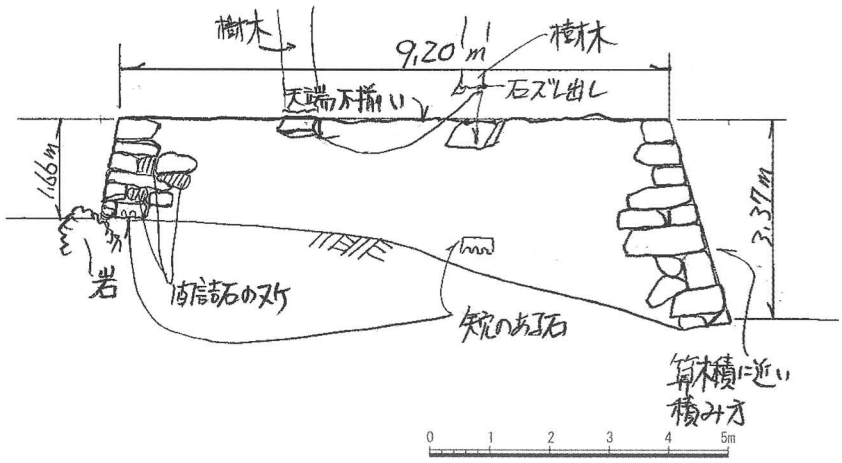
左変曲点



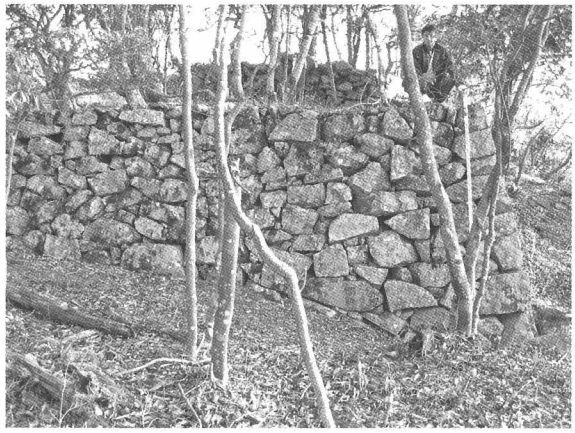
石垣番号	st_024	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 9.20		下端 10.50		
石垣高さ	左 1.66		右 3.37		
	最高 3.37	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.03		
	最高地点 0.03				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	右隅角の下部に算木積（低）。				



破損の要因と破損状況	略図
・石垣天端の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	



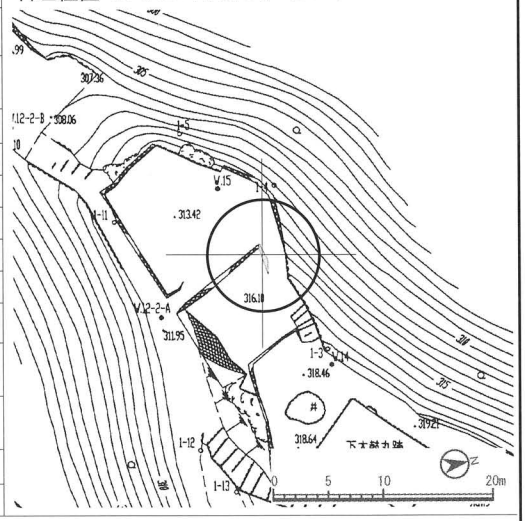
右変曲点



左変曲点

石垣番号	st_025	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.30		下端 2.53		
石垣高さ	左 0.20		右 1.66		
	最高 1.66	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	その他(石段)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	右隅角の下部に算木積（低）。露岩上に築造。				

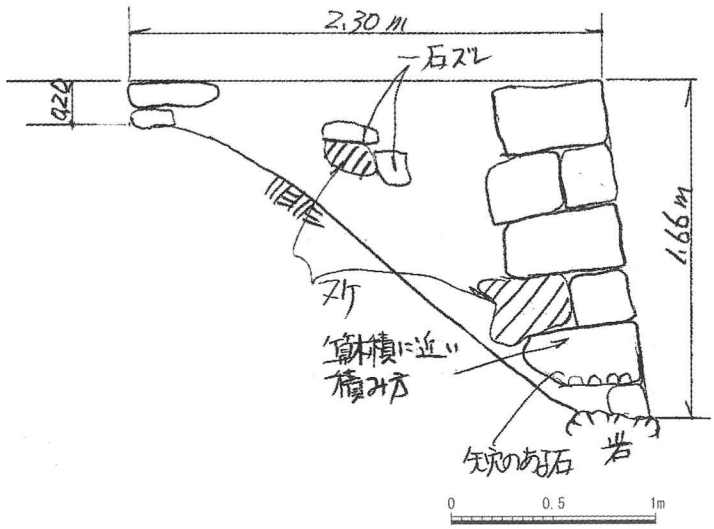
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

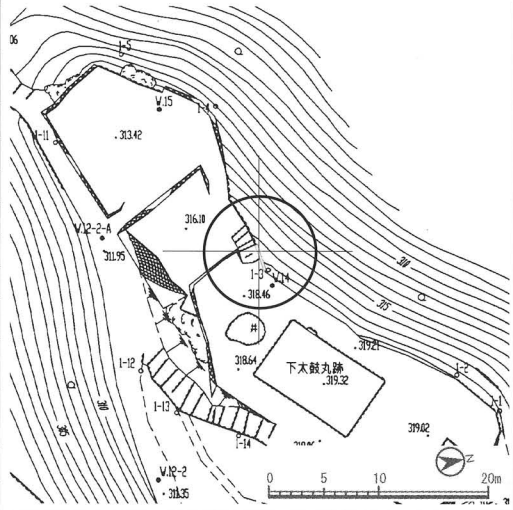
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。

略図

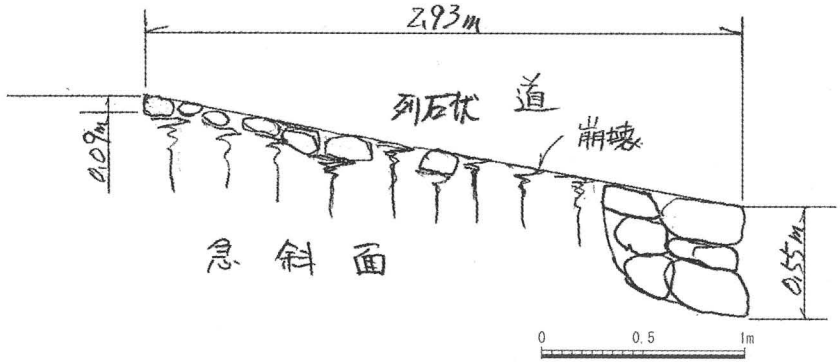


全景写真1

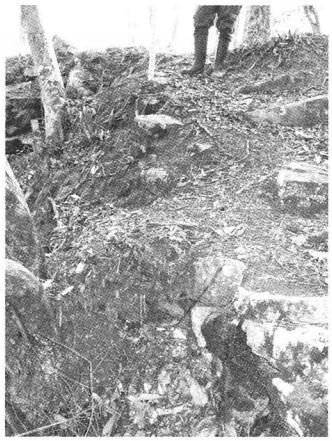
石垣番号	st_026	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	石段			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.93		下端 2.93		
石垣高さ	左 0.09		右 0.55		
	最高 0.55	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	列石状に並ぶ。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

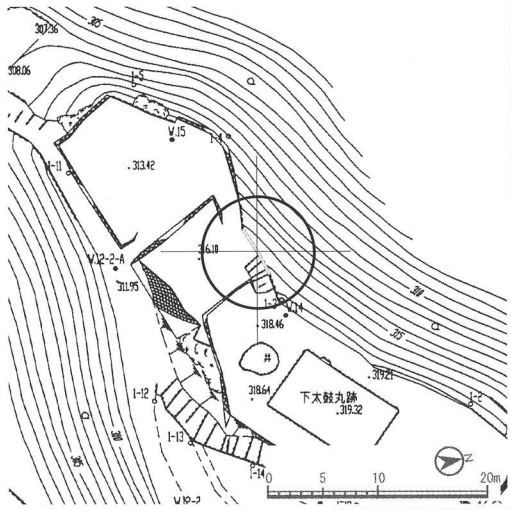


全景写真1



石垣番号	st_027	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	入角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.55		下端 3.55		
石垣高さ	左 0.55		右 0.40		
	最高 0.55	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材の多用。				

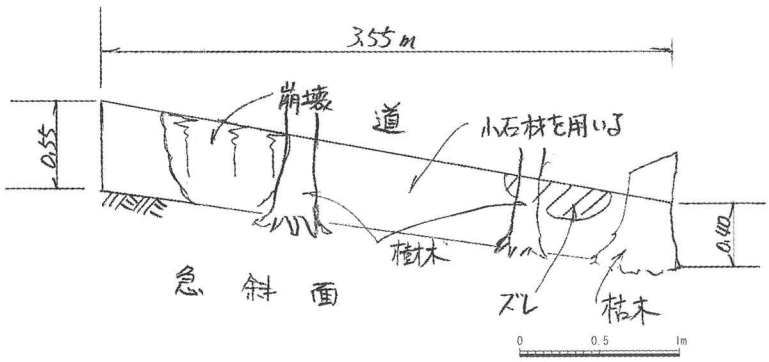
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

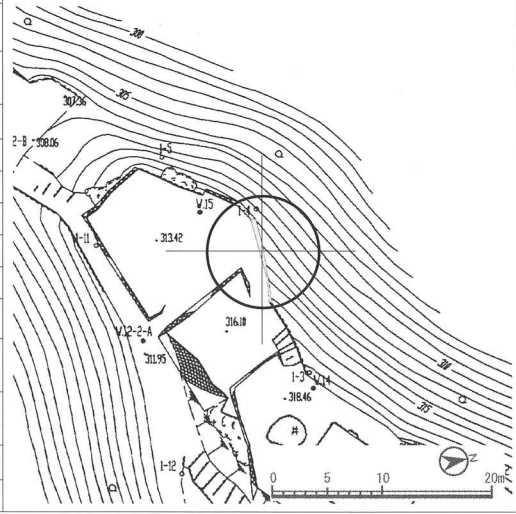
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

略図

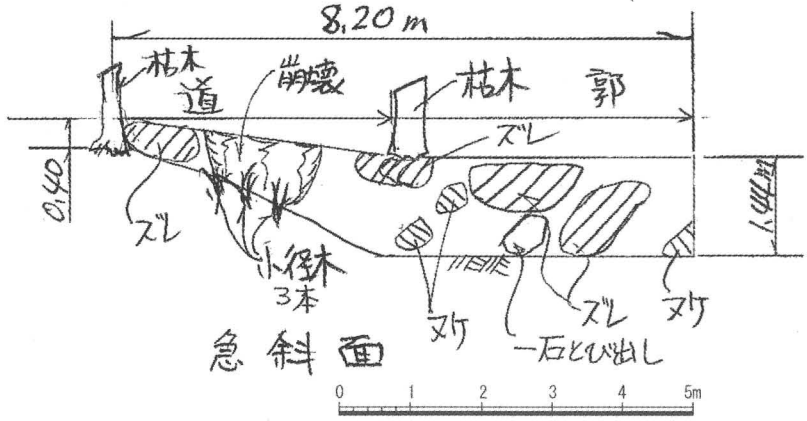


全景写真1

石垣番号	st_028	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.20		下端 8.20		
石垣高さ	左 0.40		右 1.44		
	最高 1.44	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.24		
	最高地点 0.24				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的にズレがみられる。				



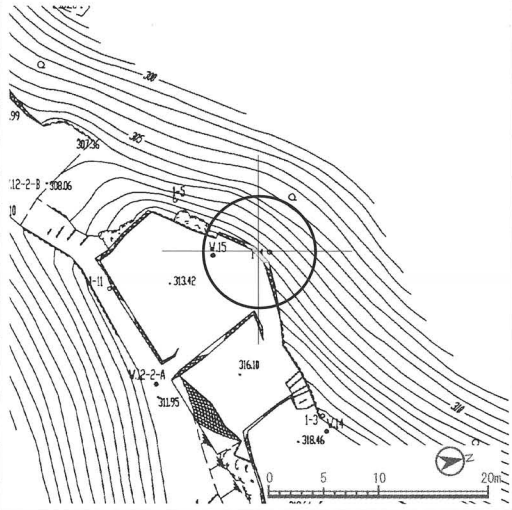
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊がみられる。	



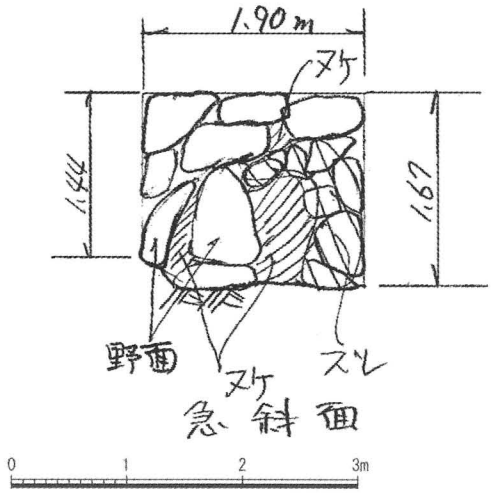
右変曲点

石垣番号	st_029	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角・シノギ（低）			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.90		下端 1.90		
石垣高さ	左 1.44		右 1.67		
	最高 1.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.24		右 0.15		
	最高地点 0.30				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	野面石を石垣下部に使用。シノギ。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

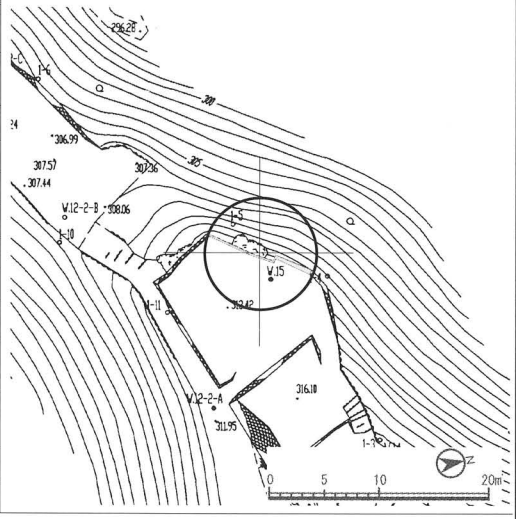


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

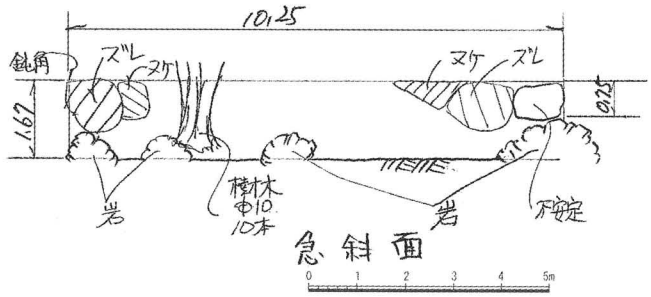


全景写真1

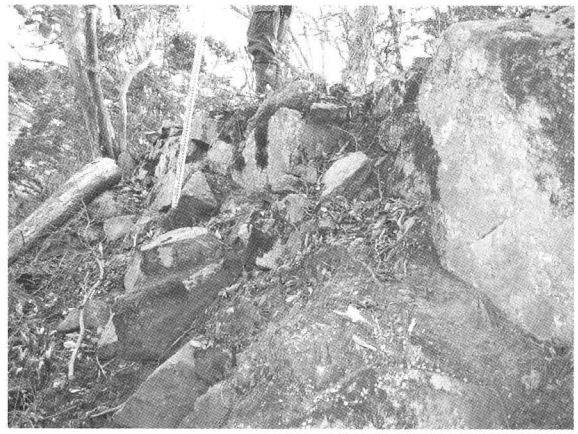
石垣番号	st_030	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角・シノギ(低)			
石垣延長	天端 10.25		下端 10.25		
石垣高さ	左 1.67		右 0.75		
	最高 1.67	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	露岩上に積む。全体的に破損が顕著。シノギ。				



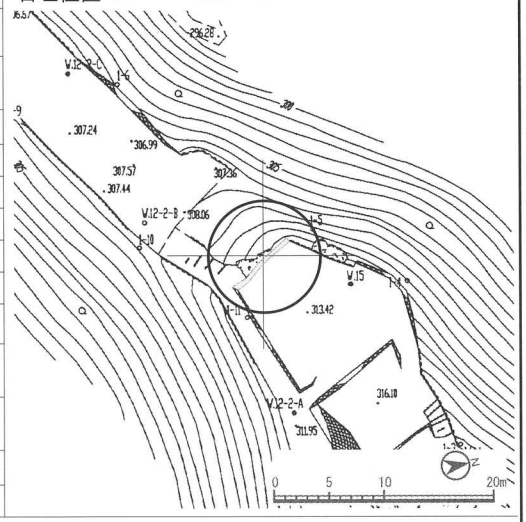
破損の要因と破損状況	略図
・岩盤と築石面の不整合などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



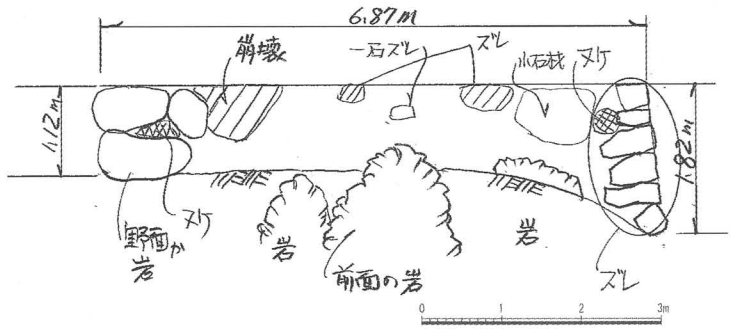
右変曲点



石垣番号	st_031	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.87		下端 7.05		
石垣高さ	左 1.12		右 1.82		
	最高 1.82	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	野面石・割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	露岩上に積む。全体的に破損が顕著。				



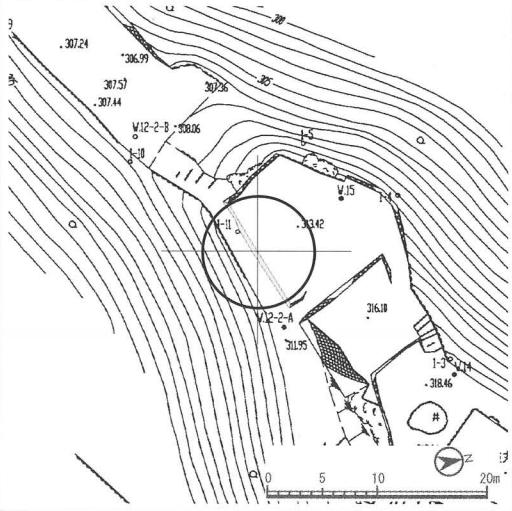
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊がみられる。	



右変曲点

左変曲点

石垣番号	st_032	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 11.40		下端 11.90		
石垣高さ	左 1.82		右 1.36		
	最高 1.82	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.08		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的にはしっかり積むが、一部小石材や縦積みなどがみられる。算木積（高）				

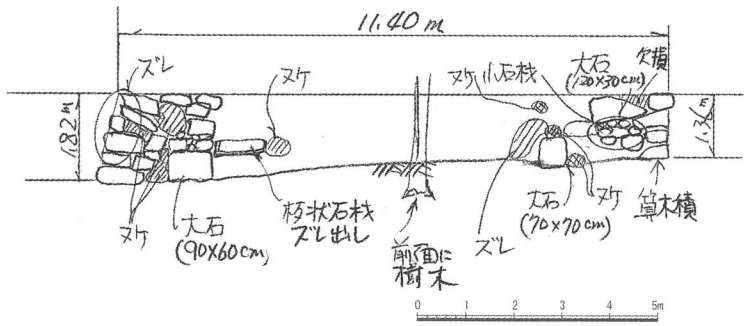


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。

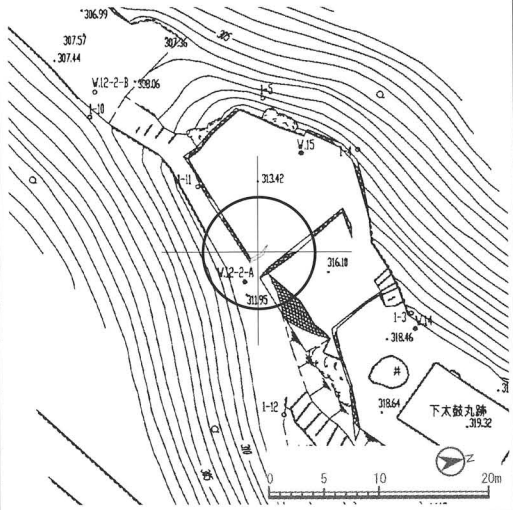
・大石の影響などにより、ヌケ、カケがみられる。

略図

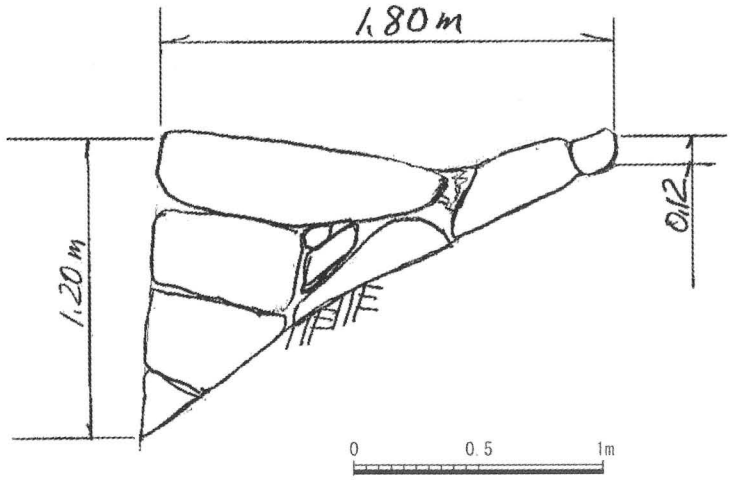


右変曲点

石垣番号	st_033	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.80		下端 1.90		
石垣高さ	左 1.20		右 0.12		
	最高 1.20	最高点位置			
石垣勾配	左 0.09		右 0.00		
	最高地点 0.09				
地盤状況	その他(虎口)				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	丸みのある石材。				

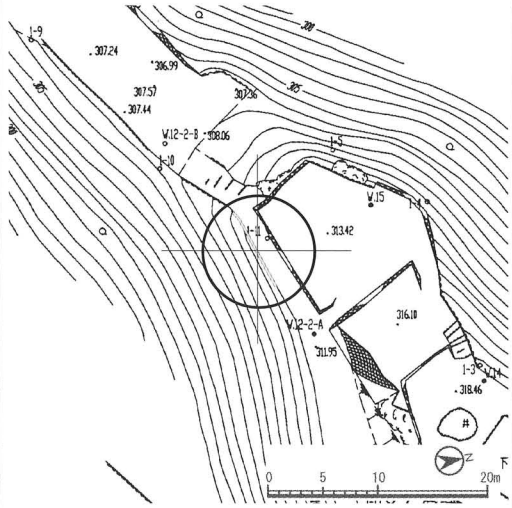


破損の要因と破損状況	略図

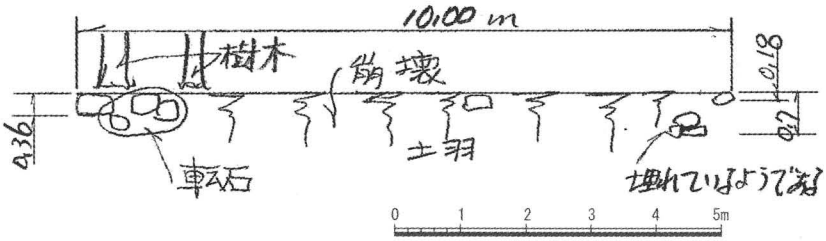


全景写真1

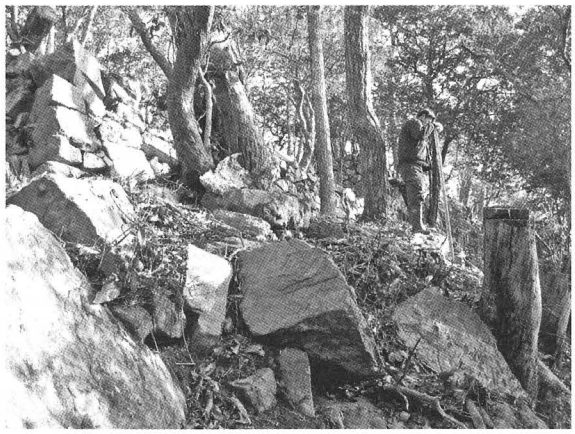
石垣番号	st_034	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 10.00		下端 10.00		
石垣高さ	左 0.36		右 0.18		
	最高 0.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	全壊				
特記事項	転石がみられる。				



破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	

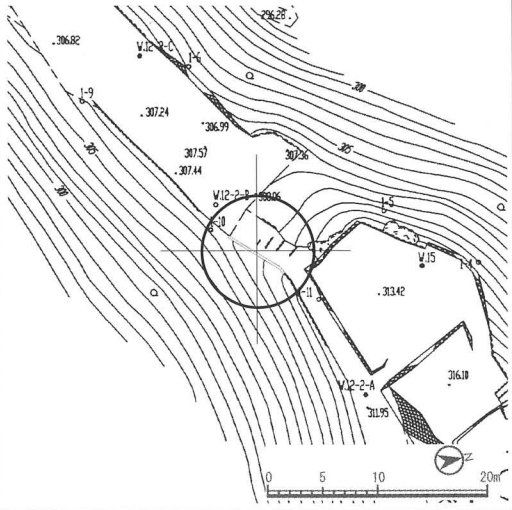


左変曲点

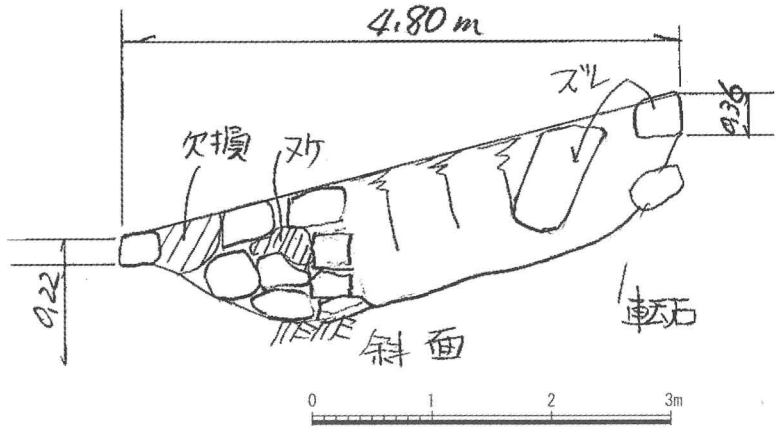


右変曲点

石垣番号	st_035	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.80		下端 4.80		
石垣高さ	左 0.22		右 0.36		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.45				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ・欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的にズレがみられる。				



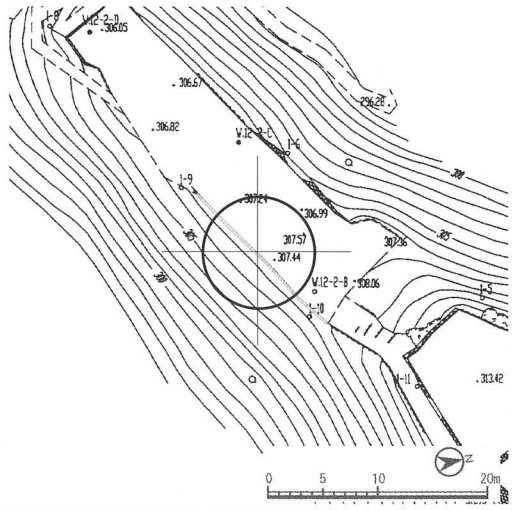
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、カケがみられる。	



左変曲点

右変曲点

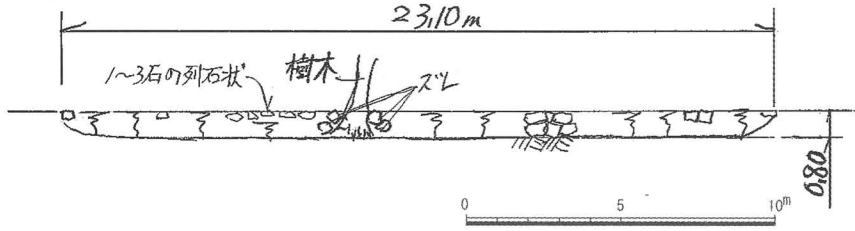
石垣番号	st_036	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 23.10		下端 23.10		
石垣高さ	左 0.05		右 0.22		
	最高 0.80		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	列石状。				



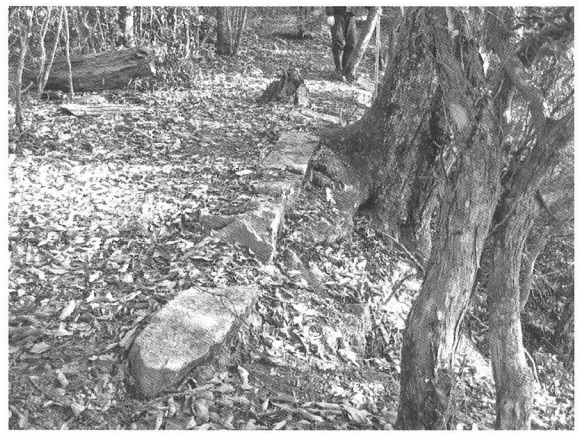
破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

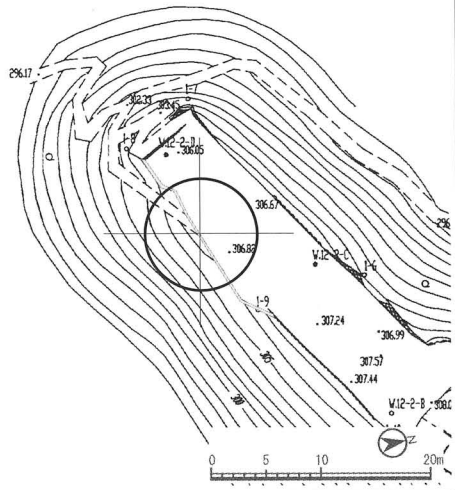
略図



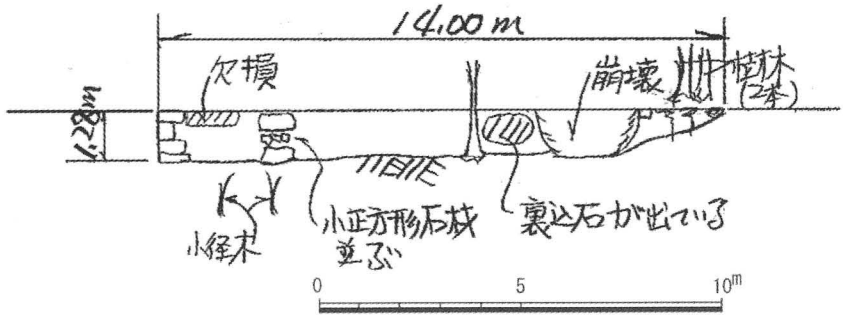
左変曲点



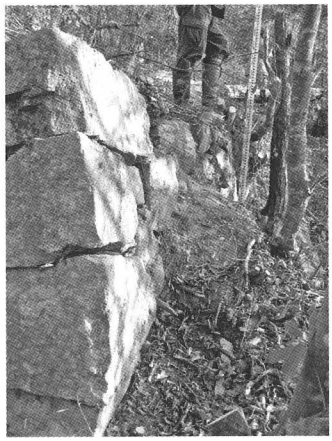
石垣番号	st_037	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 14.00		下端 14.00		
石垣高さ	左 1.28		右 0.05		
	最高 1.28	最高点位置			
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	欠落				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	崩落部に裏込め石がみられる。				



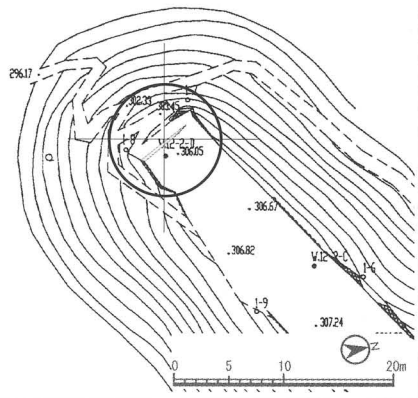
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、カケがみられる。	



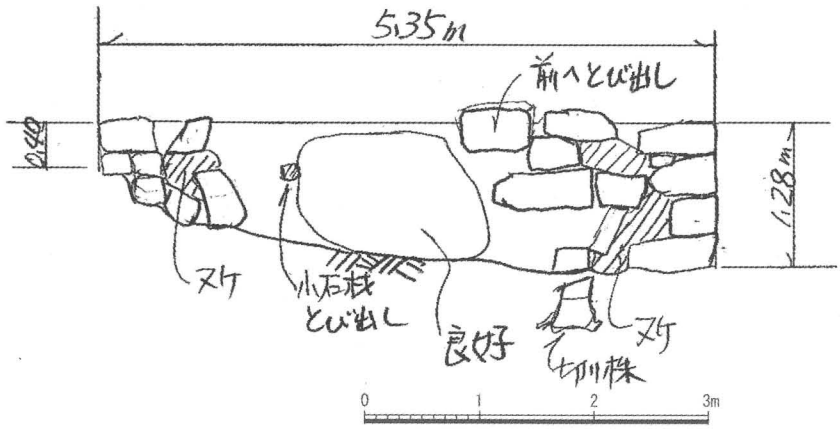
左変曲点



石垣番号	st_038	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.35		下端 5.35		
石垣高さ	左 0.4		右 1.28		
	最高 1.28	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	中央部は良好だが両端部に破損がみられる。算木積（低）				



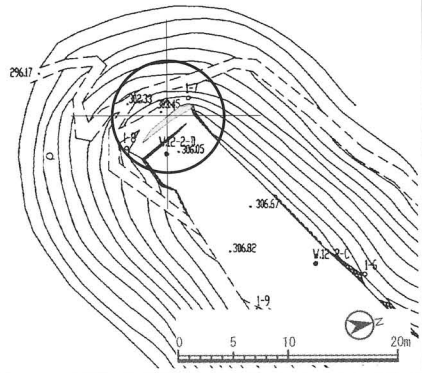
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



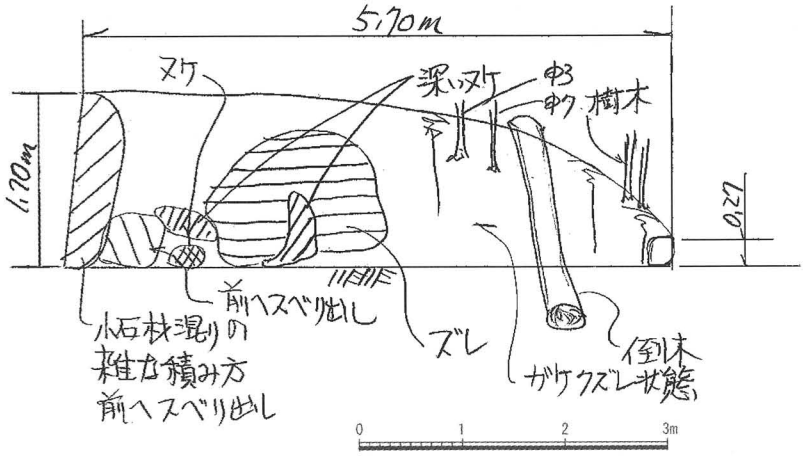
左変曲点

右変曲点

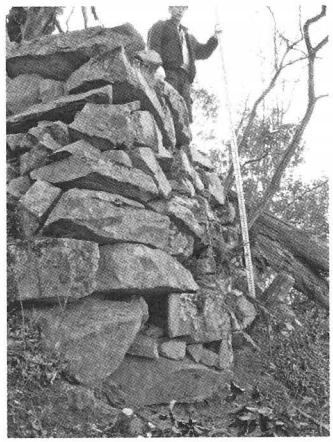
石垣番号	st_039	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	犬走り			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	（不明）			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.70		下端 5.90		
石垣高さ	左 1.70		右 0.27		
	最高 1.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左角のヌケ。				



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	

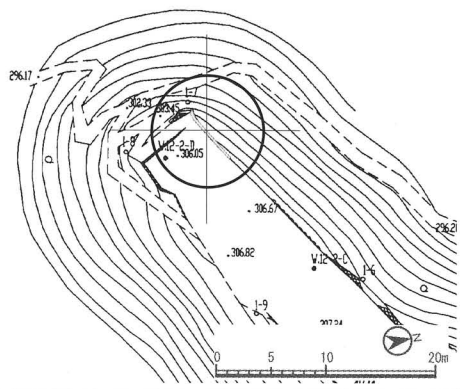


左変曲点



右変曲点

石垣番号	st_040	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.40		下端 4.40		
石垣高さ	左 0.28		右 1.70		
	最高 1.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角が極めて不安定な積み方。				

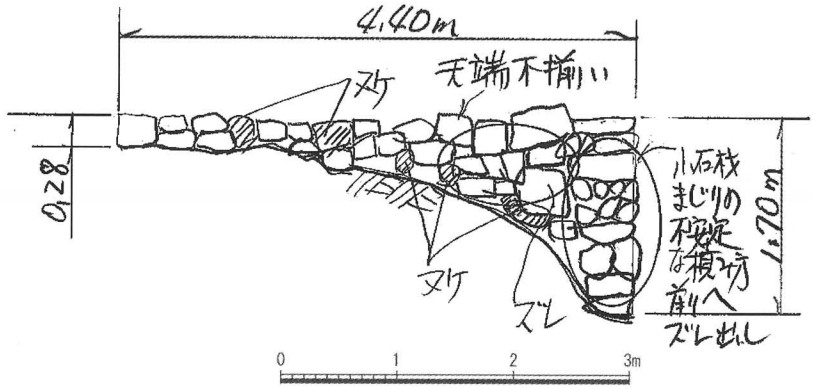


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。

・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。

略図

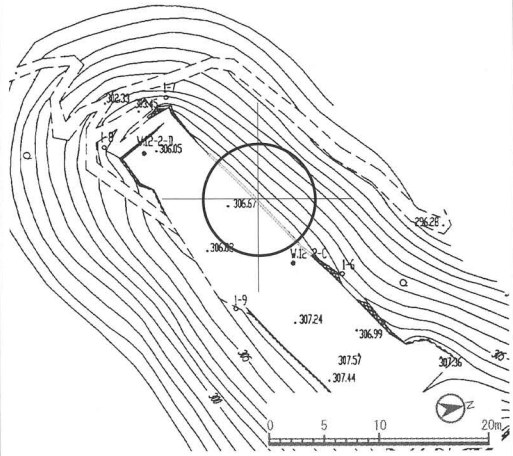


全景写真1

右変曲点

石垣番号	st_041	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 14.50		下端 14.50		
石垣高さ	左 0.10		右 0.28		
	最高 0.28		最高点位置		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	列石状に並ぶ。				

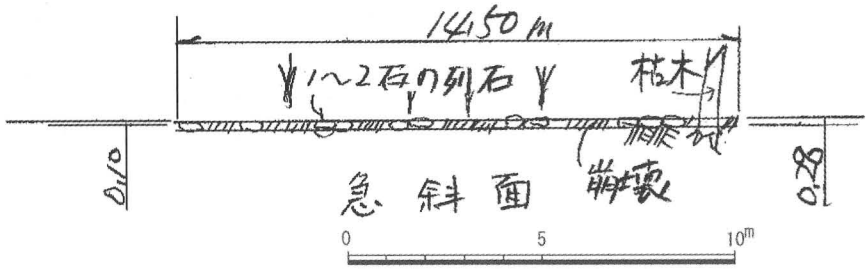
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

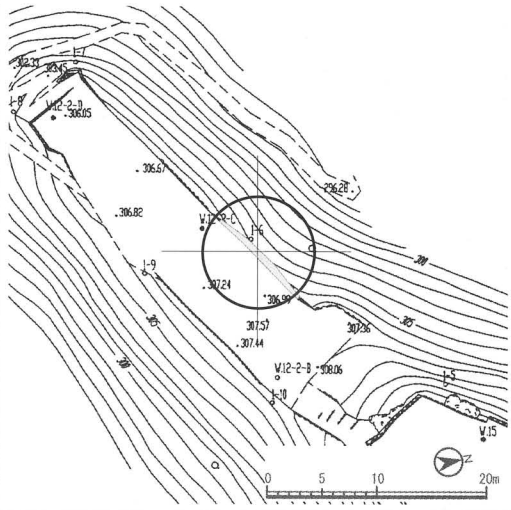
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。

略図



左変曲点

石垣番号	st_042	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 10.80		下端 10.80		
石垣高さ	左 0.64		右 0.10		
	最高 1.64	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	角張った方形石が多い。				

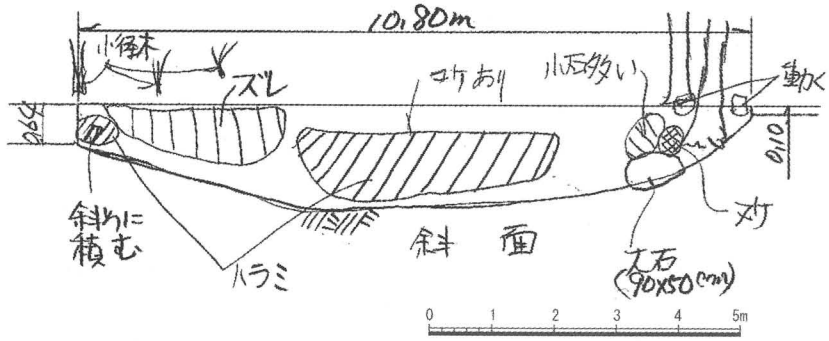


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミがみられる。

・大石の影響などにより、ヌケがみられる。

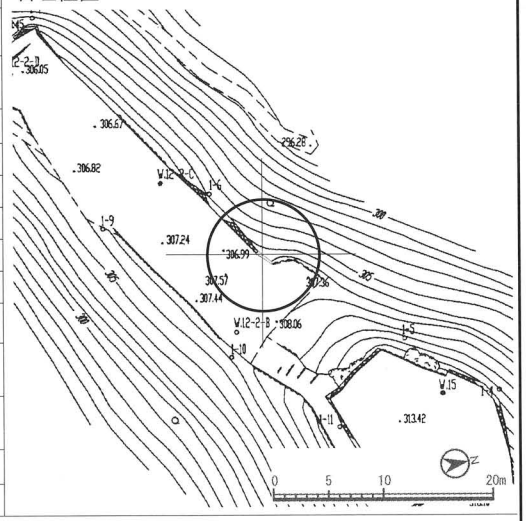
略図



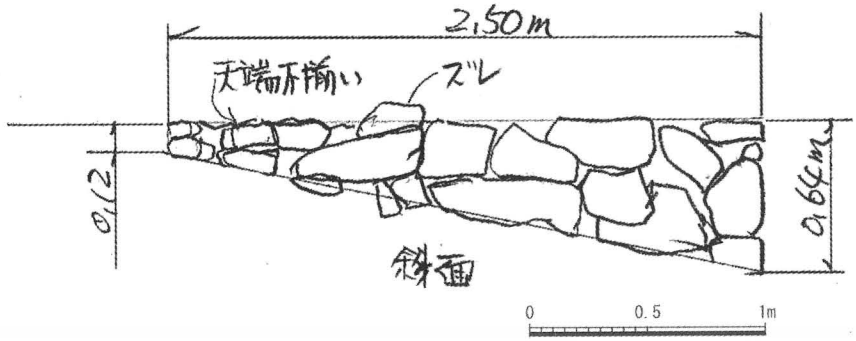
全景写真1

右変曲点

石垣番号	st_043	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(st_042)			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.50		下端 2.50		
石垣高さ	左 0.12		右 0.64		
	最高 0.64	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	角張った方形石が多い。				



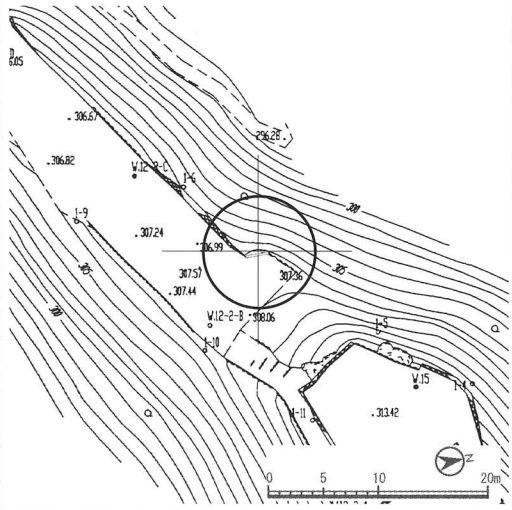
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレがみられる。	



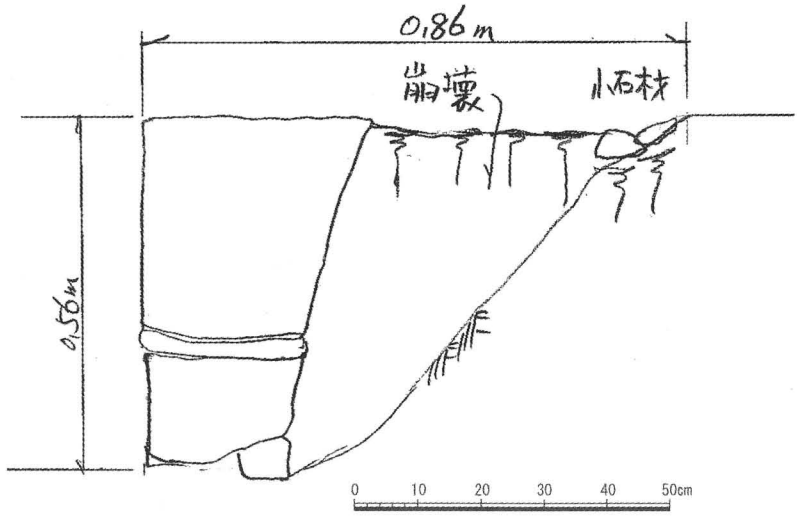
左変曲点

右変曲点

石垣番号	st_044	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 0.86		下端 0.86		
石垣高さ	左 0.56		右 0.00		
	最高 0.56	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	残存部は安定する。				



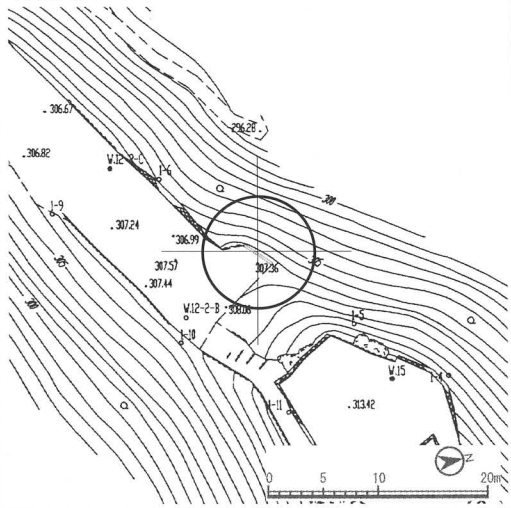
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



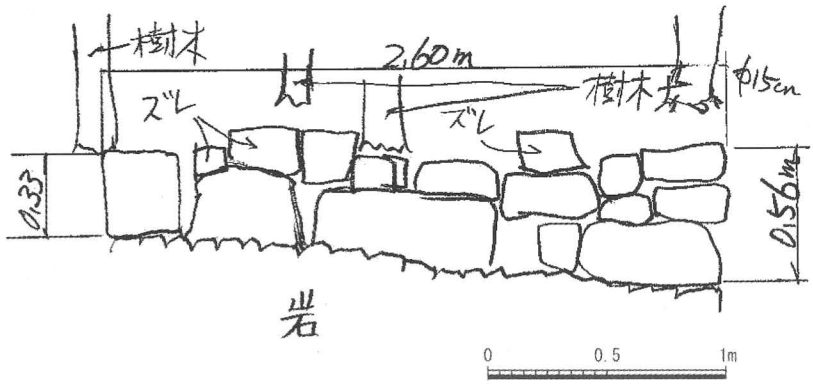
全景写真1

石垣番号	st_045	地区名	下太鼓の丸跡	曲輪名	
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.60		下端 2.60		
石垣高さ	左 0.33		右 0.56		
	最高 0.56	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	露岩上に積む。角張った石材を使用。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・石垣天端の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	



全景写真1

史跡備中松山城跡

石垣総合調査報告書

発　行　日　　平成16年3月31日

編集・発行　　岡山県高梁市教育委員会
　　〒716-8501　岡山県高梁市松原通2117－1

印　　刷　　友野印刷株式会社
　　〒700-0035　岡山市高柳西町1－23

史跡備中松山城跡

石垣総合調査報告書

岡山県高梁市教育委員会